

八王子市 がん予防・がん検診に関する調査  
報告書(別冊)

平成 23 年 3 月  
八王子市

# I. 概要

## 1. 概要

平成 22 年度に実施された「八王子市 がん予防・がん検診に関する調査」(以下、本調査)において設けられた自由回答欄に関して、回答者の全体的な傾向および平成 23 年度以降の市のがん対策への示唆を把握することを目的とし、集計・分析を行った。

## 2. 分析に用いる設問

本項では下記設問の回答について集計・分析を行った。

「問 1 4. その他、がん予防やがん検診について、お考えをお聞かせ下さい(自由記述)。」

## 3. 回収状況

本調査は市在住の 40 歳男女 3,000 人、41-74 歳男女 5,000 人の合計 8,000 人に対して行われ、男性 2,028 人、女性 2,449 人、性別無回答 18 人の合計 4,520 人から有効回答を得た(有効回答率は 56.5%)。

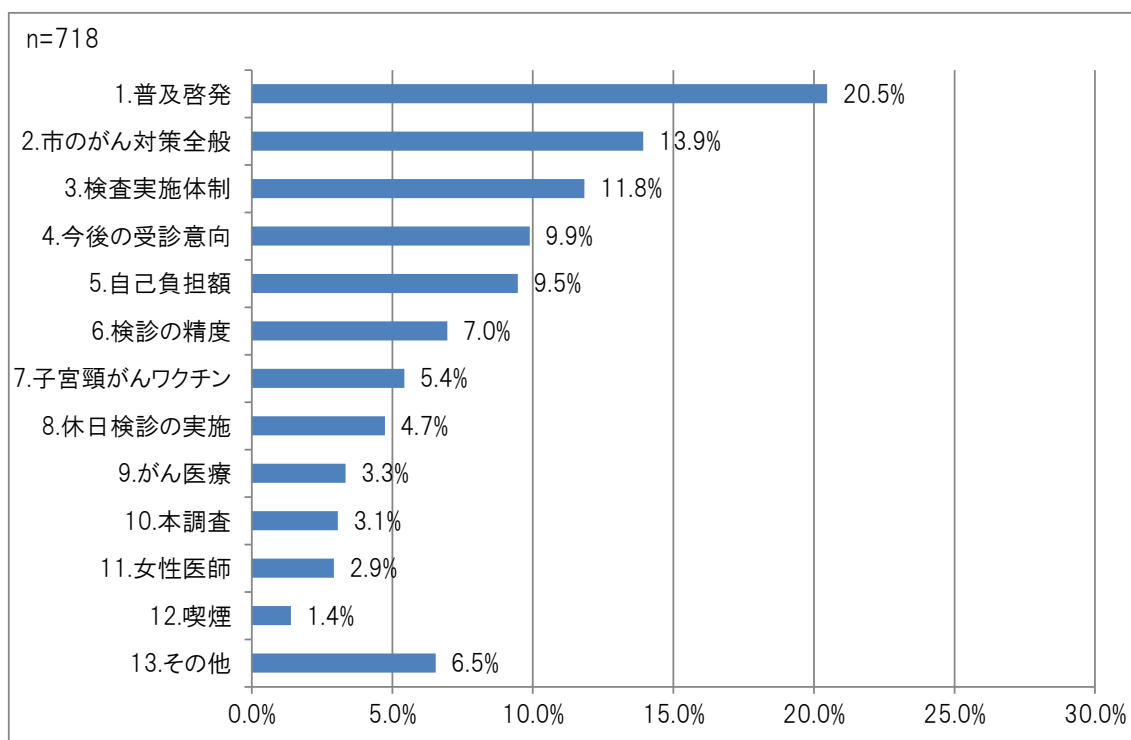
また、自由回答欄については、本調査における 4,520 人の回答者のうち 718 人から有効回答を得た(回答者を 100%としたとき、有効回答率は 15.9%)。

## Ⅱ. 結果

### 1. 市民全体の回答傾向

図1に、市民全体のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合を示した。最も回答割合が高かったのは「1. 普及啓発」であり、20.5%であった。次に回答割合が高かったのは「2. 市のがん対策全般」であり、13.9%であった。

図1. 市民全体のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合



また、表1に、カテゴリごとの年代別回答割合を示した。  
 カテゴリごとに最も回答割合の高かった年代については、下記の通りであった。

◆40歳

「1. 普及啓発」「7. 子宮頸がんワクチン」「8. 休日検診の実施」の回答割合が他の年代に比べて高かった。

◆40代

「10. 本調査」「12. 喫煙」の回答割合が他の年代に比べて高かった。

◆50代

「5. 自己負担額」「6. 検診の精度」の回答割合が他の年代に比べて高かった。

◆60代

「9. がん医療」「13. その他」の回答割合が他の年代に比べて高かった。

◆70代

「2. 市のがん対策全般」「3. 検査実施体制」「4. 今後の受診意向」の回答割合が他の年代に比べて高かった。

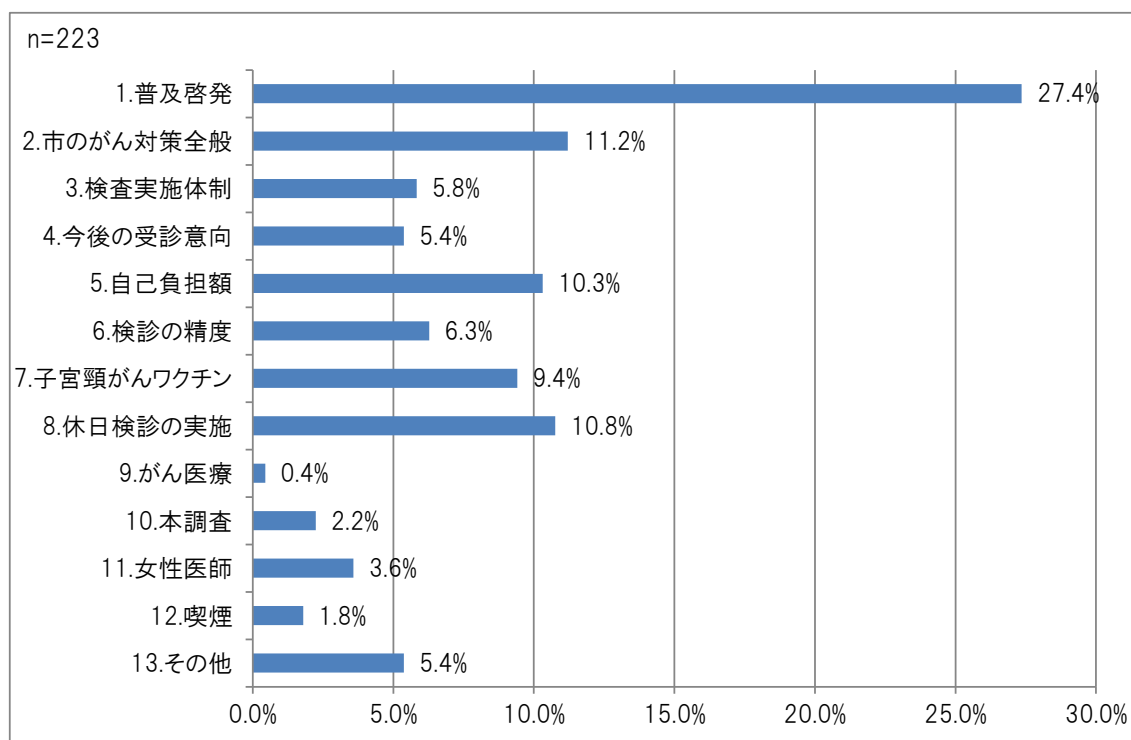
表1. 自由回答欄の回収状況

	40歳 n=223	40代 n=108	50代 n=138	60代 n=176	70代 n=70	全体 n=718
1.普及啓発	27.4%	20.4%	16.7%	17.0%	15.7%	20.5%
2.市のがん対策全般	11.2%	11.1%	16.7%	15.9%	17.1%	13.9%
3.検査実施体制	5.8%	15.7%	13.0%	13.6%	18.6%	11.8%
4.今後の受診意向	5.4%	8.3%	4.3%	17.0%	18.6%	9.9%
5.自己負担額	10.3%	5.6%	15.2%	7.4%	5.7%	9.5%
6.検診の精度	6.3%	5.6%	8.7%	6.8%	8.6%	7.0%
7.子宮頸がんワクチン	9.4%	4.6%	5.1%	1.7%	4.3%	5.4%
8.休日検診の実施	10.8%	5.6%	0.7%	1.1%	0.0%	4.7%
9.がん医療	0.4%	3.7%	4.3%	5.7%	4.3%	3.3%
10.本調査	2.2%	7.4%	2.2%	2.8%	1.4%	3.1%
11.女性医師	3.6%	2.8%	4.3%	1.7%	1.4%	2.9%
12.喫煙	1.8%	2.8%	1.4%	0.6%	0.0%	1.4%
13.その他	5.4%	6.5%	7.2%	8.5%	4.3%	6.5%

## 2. 40歳の回答傾向

図2に、40歳のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合を示した。最も回答割合が高かったのは「1. 普及啓発」であり、27.4%であった。次に回答割合が高かったのは「2. 市のがん対策全般」であり、11.2%であった。

図2. 40歳市民のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合



下記に、各カテゴリの代表的な回答を示す。

### 1. 普及啓発

「土日にも検診を。低年齢からのがん検診を啓蒙すべき。」(40歳男性)

「今年40歳になり市から検診の案内を頂きこんなにちゃんとした案内を貰える事に正直驚きました。現在は会社で行われている健康診断を受けている為個人的には検診はしていませんが、そのような機会の無い人達にはとても良い制度だと思いました。受診しないなんてもったいないですね。」(40歳女性)

### 2. 市のがん対策全般

「会社で実施する検診でガンが発見されたケースは幾つかあります。又、実際の話はわかりませんが、自覚症状があればその度合いで病院にいけばはっきりとわかる可能性は高いですが仕事が忙しいなどの時間になかなか受診できないだろうと思います。やはり国や市がもっと強制的に受診はもちろん検査内容を義務化が必要だと思います。」(40歳男性)

「一年中受けられる風邪などで病院に行ったついでに医師からすすめられる。そしてその日に受診できるし健診に組み込まれている。そうすれば受けやすいかも。」(40歳女性)

### **3. 検査実施体制**

「子供のいる主婦にとっては子供を預けることが出来なければとても無理だと思います。そのために家族にお願いするのは気が進みません。」(40歳女性)

### **4. 今後の受診意向**

「がん検診の初めの一步がなかなか踏み出せません。40歳を迎える今年度こそ受けようと思っています。」(40歳女性)

### **5. 自己負担額**

「自分は大丈夫という考えがどこかにあります。助成がもっとわかりやすくなったら検診を受けようと思う人たちが増えると思います。」(40歳女性)

### **6. 検診の精度**

「乳がん検診はあまり効果がないと聞くのでわざわざ受けようと思いません。マンモでの検診がもっと増えて近くでも気楽にできればいいと思う。」(40歳女性)

### **7. 子宮頸がんワクチン**

「子宮頸ガンワクチンの助成を早急に検討して欲しいです。幼い子を残してなくなれる方が一人でも少なくなる事が可能であるなら私を含め全ての女性の願いでもあります。出来れば全額助成を希望します。八王子市は女性に対して本当に親身になって考えてくれる市であって欲しいのです。住みやすい八王子となるように期待しています。」(40歳女性)

### **8. 休日検診の実施**

「夫婦で検診を受けたいが、子供の送迎などで時間が作れないし、休日に受診もできれば大変有難い。また八王子市がこのような事を行っているのも初めて知った。昨年がんで母を亡くし、早期発見が大変重要であると認識したので定期的に受診するようにしたい。安価な受診があれば有難い。」(40歳男性)

「土曜日だけでなく、日曜日も受けられるといい。予約もとれるのに、各機関ではなく、市など一括して、空き状況など確認できて、予約できると、もっと受けやすいのではないか。」(40歳女性)

### **9. がん医療**

「仕事が忙しいから受けられない。がんの際に見舞金が出たらありがたい。金銭面で余裕のない人は保険にも入れない。」

### **10. 本調査**

「自分も間もなく40歳になり少し健康に気を使おうと思ってましたが、がん検診は正直他人事のように考えておりました。しかし今回のアンケート八王子の推奨があったり、金額も高くなければ受けてみようかとなりました。このようなアンケートを増やすと良いのではないかと思います。」

### **11. 女性医師**

「女性は恥ずかしいからと理由も受診しない大きな理由だと思います。私も受診する際は女医がいる病院にいきます。もっと女医のいる施設を増やして欲しい。」(40歳女性)

### **12. 喫煙**

「歩きタバコが多いので健康うんぬんの前にモラルの問題をどうにかして欲しい。」(40歳男性)

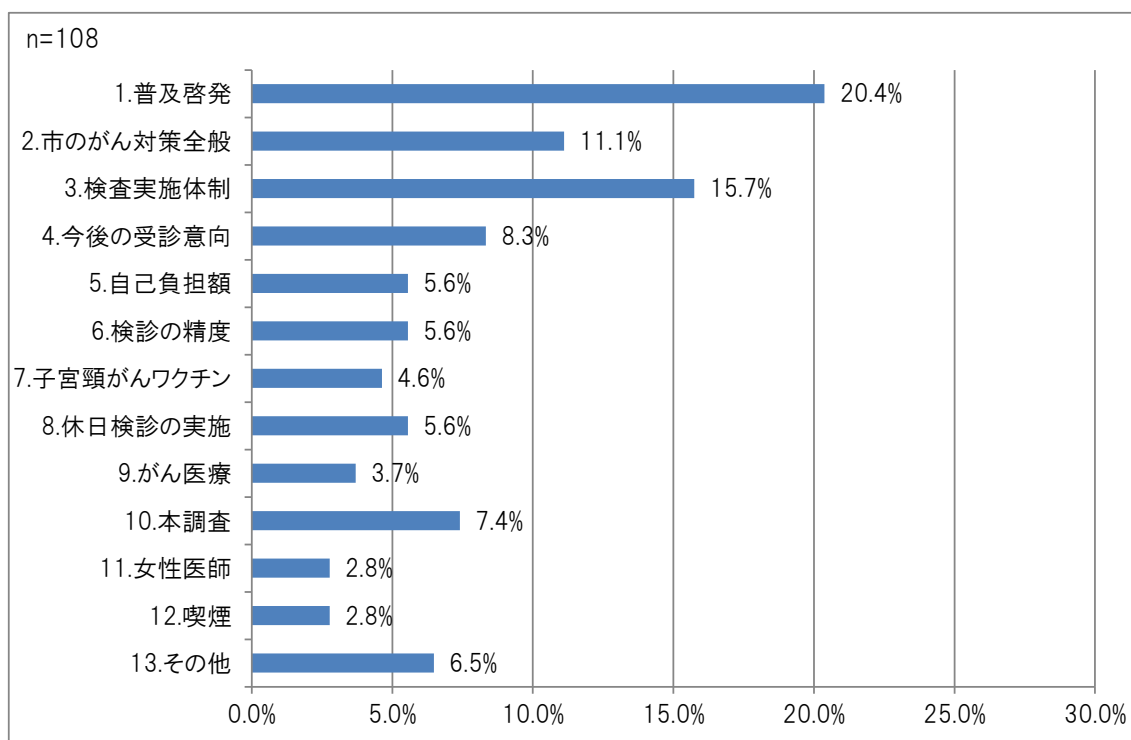
### **13. その他**

「前向きな気持ちで人生を歩むこと！」(40歳男性)

### 3. 40代の回答傾向

図3に、40代のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合を示した。最も回答割合が高かったのは「1. 普及啓発」であり、20.4%であった。次に回答割合が高かったのは「3. 検査実施体制」であり、15.7%であった。

図3. 40代市民のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合



下記に、各カテゴリの代表的な回答を示す。

#### 1. 普及啓発

「検診の必要性、重要性をもっと広報しないと受診意識が高まらない。安く受診出来る、簡単に出来る、がんになるとこんなに費用がかかる、と具体的な事例を見たり聞いたりすると予防や検診について目を向けるようになると思います。」(40代男性)

「子供の予防接種のお知らせのように、個別にがん検診のお知らせが来ると良い。市で健康手帳(母子手帳のようなもの)を作成し、生涯にわたり、病気や受けた検診の日時・名称・結果・薬などが分かるものがあると良い。」(40代女性)

#### 2. 市のがん対策全般

「受診する動機づけをすることが重要と思います。地区自治会単位で受診期間を設けてもらいたい。近所の方でがん検診の話題が出れば動機になるのでは？」(40代男性)

「みな生きるために多忙で自分の体をいたわる気持ちに余裕がないので0120発信で相談できるとこがいいなと思っています。」(40代女性)

### **3. 検査実施体制**

「簡単なキットで検診ができるようにしてほしい。」(40代女性)

「病院が長いので、一日検診には小さな子を連れていけないので、連れて行けるようにならないでしょうか？」(40代女性)

### **4. 今後の受診意向**

「大事な事とは思っていますが、費用が高いため敬遠していましたが、八王子市がバックアップしているのであれば是非検診させていただきます。」(40代女性)

### **5. 自己負担額**

「がん検診の自己費用も個々に見ていくと決して高くないようですが、ほとんど一度に受けると思います。そうすると、11,300円と高額になり、一度の出費は負担が大きいです。2回、3回に分けて払う事も出来るように選べる制度も作って欲しいです。」(40代女性)

### **6. 検診の精度**

「胃がんの検診のレントゲンはこれで見つかったときには進行している状態のように思うので、市の検診は受けないでかかりつけの病院に胃カメラも受けに行っています。食道、胃、大腸を1度に見てもらえるので安心の幅がひろがります。市の検診として胃カメラを設定し、レントゲン方法とか選択が出来るようになれば胃がんなどの早期発見が今より大幅に進むように思います。」(40代女性)

### **7. 子宮頸がんワクチン**

「子宮頸がんワクチンは無料で受けられる様にすることを望みます。これからの女の子の為に。」(40代女性)

### **8. 休日検診の実施**

「会社員などは職場で受けられる場合(有料)もあるが場所が都内23区で遠かったり又仕事で忙しくなかなか受けたいと思っても受けに行く時間も暇もない。自覚症状などあれば医療機関を受診するのでそれを検診の代わりとしているが出来れば市内で休日など受けられる制度があるとありがたい。」(40代男性)

### **9. がん医療**

「見つかった後の相談窓口もあると良いと思います。」(40代男性)

### **10. 本調査**

「このアンケートに(がん検診の案内を)同封していただければ啓発になったのではないかと思います。」(40代男性)

#### **11. 女性医師**

「乳がん、子宮がんは女性医師に診てもらいたいのでそれが分かるようにして欲しい。(例えばどこのクリニックが女性医師だとわかるように)」(40代女性)

#### **12. 喫煙**

「職場での分煙が実施されていません。市からも各会社などへ分煙や禁煙を徹底するように指導してほしい。」(40代男性)

#### **13. その他**

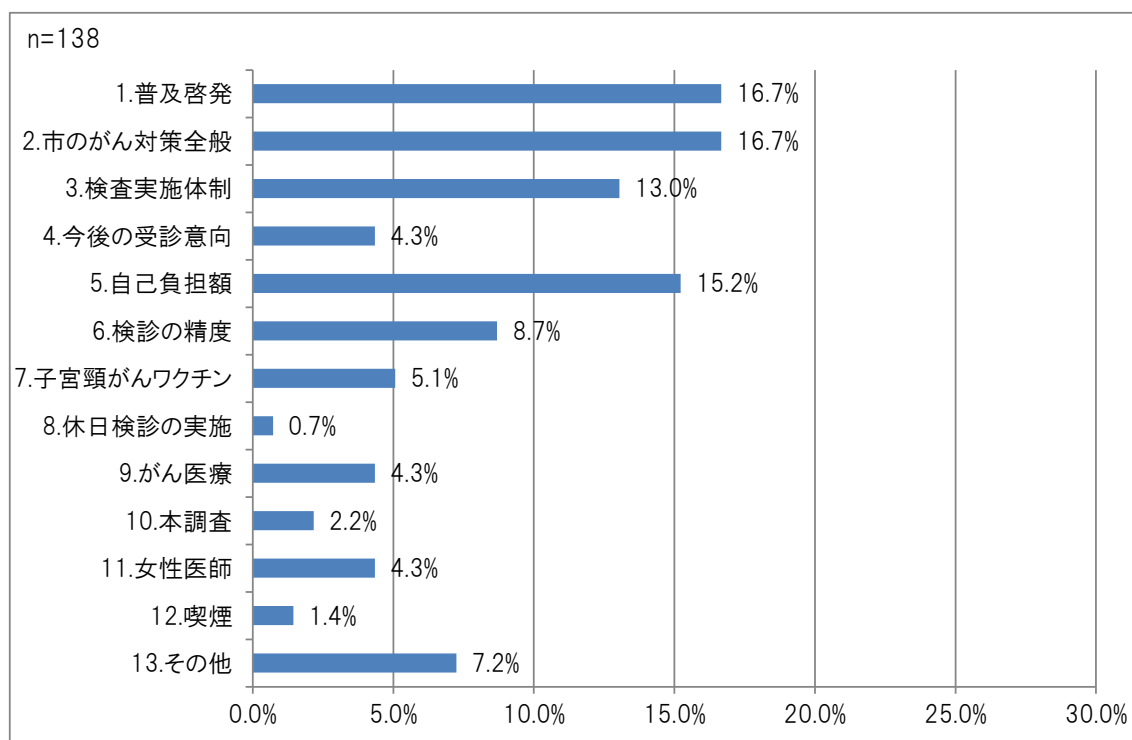
「食事が一番大切かと思います。」(40代女性)



#### 4. 50代の回答傾向

図4に、50代のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合を示した。最も回答割合が高かったのは「1. 普及啓発」および「2. 市のがん対策全般」であり、16.7%であった。次に回答割合が高かったのは「5. 自己負担額」であり、15.2%であった。

図4. 50代市民のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合



下記に、各カテゴリの代表的な回答を示す。

##### 1. 普及啓発

「会社関係の保険に加入していますが、妻子が検診をする時会社健保でやるのか、国保市町村でやるかがわからず、市と会社の検診制度の利用説明を分かりやすくしてほしい。」(50代男性)

「がん検診のお知らせを個別に郵送してほしい。現在八王子市が行っている検診は全く知らない。病院に掲示してあるポスターでは啓蒙効果は低い。」(50代女性)

##### 2. 市のがん対策全般

「市のがん検診事業は市民が気軽に受診出来るために自己負担（15%）があっても続けて欲しいと思います。特に主婦の方には重要に思います。」(50代女性)

「市で受けられるがん検診は、受けられる人受けられない人がいて不便、、、。料金も安くみんなが受けられるような八王子市を作ってほしい。死亡する人が一番少ない市に。脳のMRIも料金をもっと安くもっと病院に機会をいれて受けられるようにしてほしい。乳がんのマンモも受けなさいという割に、病院が少なすぎる。受けたくても受けられない体制があるのでは。」(50代女性)

### **3. 検査実施体制**

「人間ドックみたいに同じ病院ですべてのがん検診ができると便利でいいと思います。」  
(50代女性)

「市の広報をみて検診に応募しているのですが期間が限られていたり応募の数が過ぎていると受け付けてくれなかったりするるのでその辺りをもっと受けやすくして下さい。」(50代女性)

### **4. 今後の受診意向**

「国民健康保険のためいつもがん検診利用させていただいています。有難く思っています。」(50代女性)

### **5. 自己負担額**

「がん検診は年に一回は無料にしてほしい。」(50代男性)

「持病などに医療費がかかるので検診はなるべく安くしてほしい。」(50代女性)

### **6. 検診の精度**

「自覚症状があってもそれも伝えて思い切って検診を受けたのに見つけてもらえませんでした。結果自分で医療機関を調べて受診し、治療する事が出来ました。「異常ありません。」という検診結果をまた受けていたら…と思うとぞっとします。流れ作業のような検査では無く信頼のおける正確な検診でなかったらまるで意味がありません。」(50代女性)

### **7. 子宮頸がんワクチン**

「子宮頸がんのワクチンが無料になってほしい。他国のように子どもたちが全員受けられたら良い。」(50代女性)

### **8. 休日検診の実施**

「土日祝日に検診が受けられる様になるといいのでは。乳がん エコーとマンモ両方が設置してほしい、そしてエコーとマンモでの検診の項目に入れてほしい。」(50代女性)

### **9. がん医療**

「検診その他でガンが見つかった場合に症例の多い信頼できる医療機関に速やかに入院処理できるシステムを！」(50代男性)

### **10. 本調査**

「この調査結果と今後の対策についてお知らせください。高齢者に対応した受け易くやさしい検診になる事を期待しています。よろしく願いいたします。」(50代女性)

### **11. 女性医師**

「乳がん子宮がんは女性医師に診てもらいたい。信頼ある優れた女性医師が八王子に増えることを望みます。」(50代女性)

### **12. 喫煙**

「喫煙とがんの関係についてPRすべき、若者の喫煙増加を危機と感じる啓蒙活動を。」(50代男性)

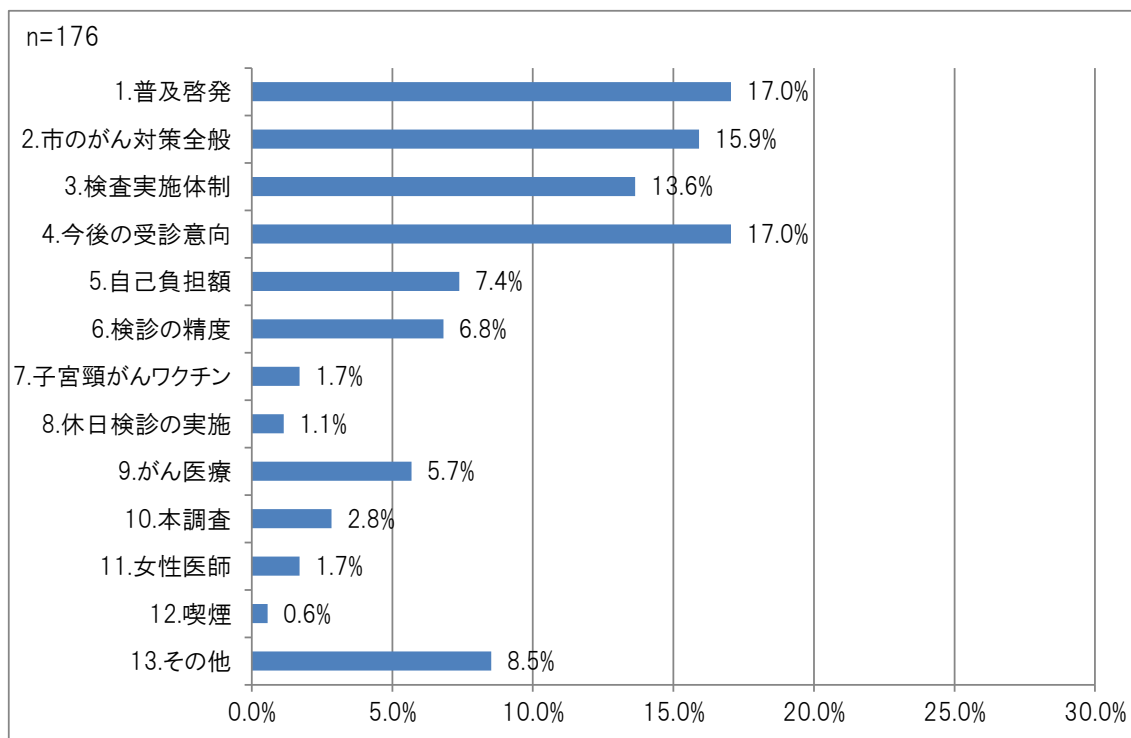
### **13. その他**

「症状が現れてから検査する。遅ければ運が悪かったとあきらめる。」(50代男性)

## 5. 60代の回答傾向

図5に、60代のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合を示した。最も回答割合が多かったのは「1. 普及啓発」および「4. 今後の受診意向」であり、17.0%であった。次に回答割合が高かったのは「2. 市のがん対策全般」であり、15.9%であった。

図5. 60代市民のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合



下記に、各カテゴリの代表的な回答を示す。

### 1. 普及啓発

「退職後は職場の検診がなくなり、市による個別の案内を希望します。」(60代男性)

「個別案内はとてもありがたい。それをきっかけに定期検診を受けるようになった。土日祝日も検診してくれると若い人や働いている人にもよいのではと思う。」(60代女性)

### 2. 市のがん対策全般

「昨年までは職場からの補助により人間ドックで詳細に受けておりましたので、今年からどうしようとなやんでいるところでした。八王子市でこんなに細かくがん検診を受けられるのを初めて知り心強く感じております。」(60代女性)

「がんで苦しむことなく、若い人もがんを見つけることができるよう検診が受けられる人間社会になればと願っています。がんで苦しんでいるのは、本人も家族も辛いことですね。一度なったら、治りにくい病気。市・国の財を生命にしっかりと使用できればうれしいです。建物でなく生命(人間)に手を入れてください。お願いします。子どもたちの未来がよくなるように。」(60代女性)

### **3. 検査実施体制**

「退職後の健康管理が重要となるので受診が簡単に出来る仕組みを作ってもらいたい。」  
(60代男性)

「住んでいる場所が日野市と道はさんで八王子市に住んでいます。日野市の病院でも受けられるようにして欲しいです。車はないし、不便です。」(60代女性)

### **4. 今後の受診意向**

「八王子市大腸がん検診(検便)で便潜血陽性の測定があり初めて精密検査を受診5mm/5mmの腸内ポリープが五か所発見され年末に内視鏡による摘出手術を実施します。早期発見との事で一安心しております。年齢相応の方は年一回は受診をすすめます。」(60代男性)

「7月に家族がガンで亡くなりました。検診、手術、抗がん剤、ホスピス全てみてきました。いろいろ考えます。」(60代女性)

### **5. 自己負担額**

「胃がん検診の案内は市報で見たような気がします。がん検診=高い、お金がかかるイメージですので、すべて800円にさせていただくと皆さん受診すると思いますが。。とは言え、色々お世話さます。今年度もよろしくお願い致します。」(60代女性)

### **6. 検診の精度**

「医学的根拠のあいまいながん検診は苦痛が伴うだけで意義を感じない。費用は多少かかっても安心出来る検診であって欲しい。前立腺がん検査はPSA 大腸がんは胃がんは内視鏡検査、肺がんはMRIなどどのような納得性のある検査を行うか基準を明確にして欲しい。」  
(60代男性)

### **7. 子宮頸がんワクチン**

「若い人が予防できるがんにかかるのが悲劇です。ワクチン等で予防できるものには助成が行き渡るようお願い致します。」(60代女性)

### **8. 休日検診の実施**

「私は働いているので土日祝日でのがん検診を実施して欲しい。」(60代女性)

### **9. がん医療**

「がん予防の市内の検診を受けています。大腸がんは(もしがんになった場合に)68歳で国民年金の生活ですので医者に支払うお金の心配があります。その他の体のことでも同じです。高齢になっても病気のこと、支払い事がこれからは第一の悩みです。よろしくお願い致します。」(60代男性)

### **10. 本調査**

「早期発見早期治療はわかっているが受診しにいても会社が休めない。土日の受診若い人への配慮。自治会等で(交通安全のビデオ)のような取り組みはいかがでしょうか?日ごろ健全な人ほど過信しやすいです。今回のアンケートが役に立つよう願ってます。」(60代女性)

### **11. 女性医師**

「女性医師に診られたい。女性医師の優遇を。」(60代女性)

### **12. 喫煙**

「公園と接して住んでいます。公園でのタバコの煙が室内に夏でも窓を閉めなければなりません。公園を禁煙にしてください。強く要望いたします。西八王子駅あたりも禁煙ですが守られておりません。指定場所での煙も何とかならないかと思っています。」(60代女性)

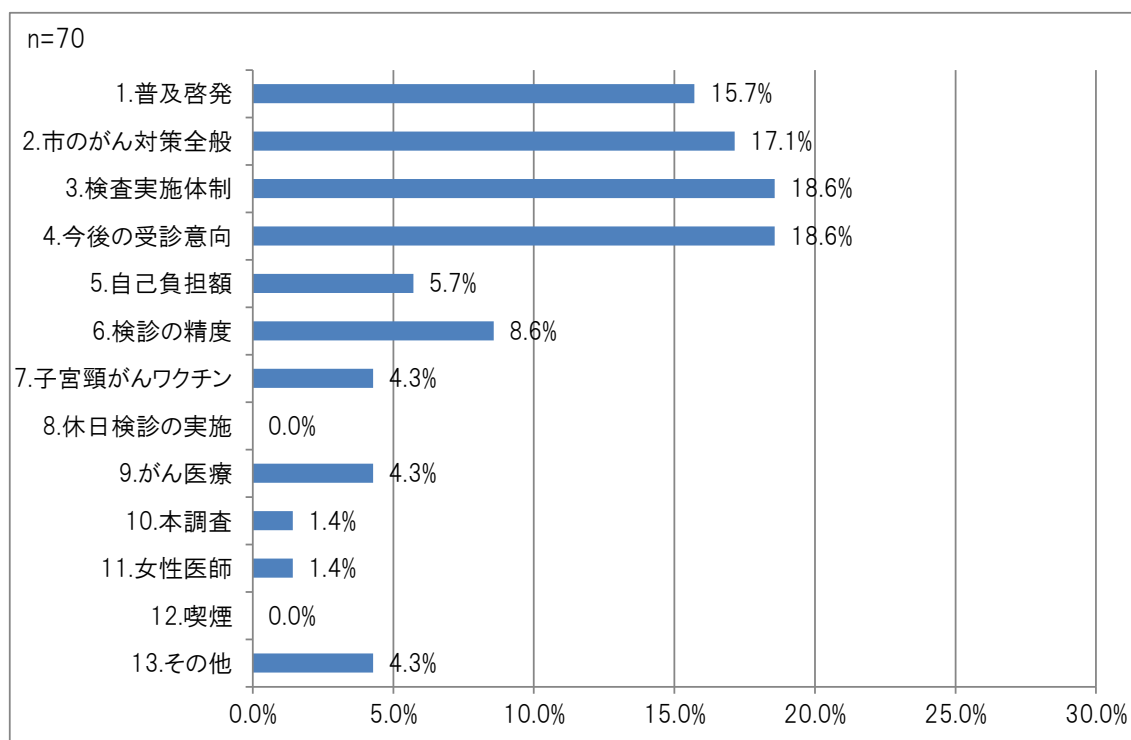
### **13. その他**

「食生活に気をつける。例えば辛い物は控えて野菜を多く摂取すること。」(60代女性)

## 6. 70代の回答傾向

図6に、70代のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合を示した。最も回答割合が高かったのは「3. 検査実施体制」および「4. 今後の受診意向」であり、18.6%であった。次に回答割合が高かったのは「2. 市のがん対策全般」であり、17.1%であった。

図6. 70代市民のカテゴリごとの自由回答欄の回答割合



下記に、各カテゴリの代表的な回答を示す。

### 1. 普及啓発

「各機関が配布しているガイドもよくわからない。わかりやすい内容にして各家庭に配布は不可能でしょうか？」(70代男性)

「情報の発信についてお願いしたいです。いろいろとありがとうございました。」(70代女性)

### 2. 市のがん対策全般

「手続きが難しそうで二の足を踏んでしまう。気軽に受けられる医療機関の紹介。」(70代男性)

「今年の検診は頼みにくい。今までの方が自分が何を頼んであり、まだ何を受けてないか？以前の方が分かりやすいです。」(70代女性)

### **3. 検査実施体制**

「本来は八王子市のがん検診で全てを対応したいが検診内容により何回かにわけて受診しなければならないので不便。」(70代男性)

「市で実施されているがん検診を医療機関で半日か一日で受診することが出来る選択も設けてください。一般の人間ドック(一日コース程度)の受診料の一部を補助してください。」(70代女性)

### **4. 今後の受診意向**

「自分にはがんはあまり関係がないと思い関心が薄い 以後気をつけたい。」(70代男性)

「市の検診で大腸がんが見つかりました。検診の大事なことが分かり毎年受けております。」(70代女性)

### **5. 自己負担額**

「胃カメラ費用の助成をして下さい。」(70代男性)

### **6. 検診の精度**

「癌が”どこか”にあるかが血便検査でわかるという”それが確実にできるのであれば、まずは検査できれば良いのだが。バリウムをあれだけいっきに飲むのは大変になってきています。」(70代女性)

### **7. 子宮頸がんワクチン**

「自分のがん検診、健康診断は勤務先、主人の健康保険で行うことが出来ますが、子供の子宮頸ガン予防ワクチンについては市の助成がなく高額であるため、この足を踏んでいます。未来ある子供の頸ガンワクチン女性を切望しています。」(70代女性)

### **9. がん医療**

「高額な治療費と検査に振り回される事と信頼できる病院医師がいない事。自分のがんと診断されたら今の検診に不安と不満が残ります。」(70代男性)

### **10. 本調査**

「父弟が大腸がんで亡くなっているため、大腸検査(内視鏡)は2~3年に1回受けています。気になる事には熱心になりますが、他はかなり大ざっぱと思います。反省しています。もう少し市のがん検診を利用させていただくよう案内等しっかりチェックするように心がけます。このアンケートはとても勉強になりました。」(70代女性)

### **11. 女性医師**

「マンモグラフィを毎年受診に、子宮がん乳がんは女性医師に診てもらいたい。できれば費用も安く。マンモグラフィの実施場所を増やしてほしい。」(70代女性)

### **13. その他**

「ガンは予防が大切でしょう。身体を酸化させない工夫がポイントでしょう。この点は個人の工夫しかないでしょう。工夫は個人によりそれぞれ異なるでしょう。食事・スポーツ・酒・タバコ・疲労・サプリメント。睡眠などの関係。予防できている人は少ないでしょうから、次は定期健診を確実に実行できる工夫を行政・個人の両方がすること。工夫とは、具体的データを使って、実行しないとリスクがあることを行政が市民に伝えること。ここがポイントでしょう。」(70代男性)

### Ⅲ. 考察

下記に、本調査の自由回答欄より得られた回答傾向をもとに、各年代の特徴に関する考察を行った。質的な回答に基づく考察であるために、真に各年代の意見を代表していない可能性は否定できないが、得られた生の声は十分有用と考えられる。

#### 1. 40 歳の特徴

##### がん検診の個別受診案内の継続・強化が効果的と推察される。

40 歳では、特に「1. 普及啓発」への要望に関する回答割合が高く、40 歳の自由回答欄回答者のうち 27.4%に上った。これは、30 代のうちはまだ対象となっていないがん検診が多いため、対象者に対してがん検診に関する周知をする度合いが 40 歳以上の年齢に比べて低いためと考えられる。一方がん検診の個別受診案内を受け取った回答者からは、「市からこんなにちゃんとした案内を貰えることに正直驚きました」との意見もあり、この年齢に対するがん検診の周知を継続・強化していくことが効果的と推察される。

##### 子供のいる世帯へのサポートとして、受診可能日時の拡大や一時保育の情報提供等の取り組みが考えられる。

また、特徴的な意見が見られたのは「3. 検査実施体制」についてであった。「子供のいる主婦にとっては子どもを預けることができなければとても(検診を受けることは)無理だと思います」という意見から伺えるのは、子どものいる世帯ががん検診を受けやすくなるようなサポート体制への要望である。こうした対象者に対しては、受診可能な日時の拡大や一時保育の情報提供等の取り組みが考えられる。

#### 2. 40 代の特徴

##### 普及啓発の取り組みとして、個別受診案内がより効果的と考えられる。

40 代でも、40 歳と同様に「1. 普及啓発」への要望に関する回答割合が最も高く、40 代の自由回答欄回答者のうち 20.4%に上った。区で普及啓発の取り組みを進めているにも関わらずこのカテゴリの意見が多いのは、普及啓発の情報が住民に到達していない可能性が考えられる。「子供の予防接種のお知らせのように、個別にがん検診のお知らせが来ると良い。」という意見から、普及啓発の手段として個別受診案内が効果的である可能性を伺い知ることができる。

##### 忙しい中での受診機会を確保するため、検診実施医療機関や受診可能日時の拡大などが考えられる。

また、次に回答割合が高かったのは、「3. 検査実施体制」についてであり、40 代の自由回答欄回答者のうちの 15.7%であった。「簡単なキットで検診ができるようにしてほしい」という意見から読み取れるのは、仕事等で忙しい中でもがん検診を受けやすくなるようながん検診実施体制への要望である。忙しい中での検診受診機会の確保のため、検診実施医療機関や受診可能な日時の拡大などが考えられる。

### 3. 50 代の特徴

市のがん検診事業が重要な受診機会である主婦層に対する、マンモグラフィを受診できる医療機関の拡大が求められている。

50代で最も回答割合が高かったのは、「1. 普及啓発」に加えて「2. 市のがん対策全般」であり、50代の自由回答欄回答者の16.7%であった。「市のがん検診事業は市民が気軽に受診するために自己負担があっても続けて欲しいと思います。特に主婦の方には重要に思います。」という意見から、職場で受診機会のない方にとって市のがん検診事業が重要な受診機会となっていることが読み取れる。一方、「マンモも受けなさいという割に、病院が少なすぎる。受けたくても受けられない体制があるのでは。」という意見から、職場で受診機会のない層、中でも女性に対するがん検診受診機会拡大策が求められていることが伺える。特にマンモグラフィを受診できる医療機関の拡大が求められる。

自身の健康に不安を持っている層に対し、がん検診が効果的な健康投資であることを啓発することが必要であると考えられる。

また、50代で次に回答割合が高かったのは、「5. 自己負担額」についてであり、50代の自由回答欄回答者のうち15.2%に上った。特筆すべきは、他の年代に比べても50代においてこのカテゴリーの回答割合は最も高かった点である。「持病などに医療費がかかるので検診はなるべく安くしてほしい。」という意見からは、自身の健康や健康維持のためにかかる費用に対する漠然とした不安が読み取れる。この年代に対してはがん検診を早期に受けることの有効性や安心感を個別受診案内等で伝えることで、がん検診が自身の健康に対する効果的な投資である認識を持ってもらうことが必要であると考えられる。

### 4. 60 代の特徴

職場での受診機会を持たなくなる60代に対して特定健診との同時受診を案内することが効果的であると推察される。

60代で最も回答割合が高かったのは、「1. 普及啓発」に加えて「4. 今後の受診意向」であり、60代の自由回答欄回答者の17.0%であった。「八王子大腸がん検診（検便）で便潜血陽性の測定があり～（中略）～早期発見とのことで一安心しております。年齢相応の方は年一回は受診をすすめます。」という意見から伺い知ることができるように、60代は身の回りや自分自身にとって、がんに関わらず健康に関わる問題を抱え始める年代と推察される。本調査の送付により「がん検診を受診しようと思います」と自由回答欄に記載した60代の数が他の年代に比べて多かったのは、本調査の送付が、職場での受診が通例であるために市のがん検診事業を知らなかった60代に対する受診勧奨効果となって表れたからと考えられる。よって、職場での受診機会を持たなくなる60代に対して特定健診との同時受診を案内することが効果的であると推察される。



## 健康に関する不安を身近に感じる 60 代に対し、がんに関する相談窓口の案内がひとつの策として考えられる。

また、60 代が他の年代に比べて最も回答割合が高かったのが「9. がん医療」についてであり、60 代の自由回答欄回答者の 5.7%であった。これは、身の回りや自分自身に対する医療ニーズがそれまでの年代より高まるためと考えられる。「高齢になっても病気のこと、支払い事がこれからは第一の悩みです。」という意見から伺える 60 代の不安を払しょくするために、がんに関する相談窓口の案内といった策がひとつの可能性として考えられる。

## 5. 70 代の特徴

### かかりつけ医による受診勧奨をより浸透させていくと同時に、複数のがん検診を同時に受けることができる医療機関の紹介を行っていくことが可能性として考えられる。

70 代で最も回答割合が高かったのは、「3. 検査実施体制」および「4. 今後の受診意向」であり、70 代の自由回答欄回答者の 18.6%であった。特に前者に関して、「本来は八王子市のがん検診で全てを対応したいが検診内容により何回かに分けて受診しなければならないので不便」という意見から、複数のがん検診を同時に受診することができる医療機関の存在が伝わっていない可能性が伺える。これに対する取り組みとしては、かかりつけ医によるがん検診の受診勧奨をより浸透させていくと同時に、その際、複数のがん検診を同時に受けることができる医療機関の紹介を行っていくことが可能性として考えられる。

### がん検診を手軽に受けられることや特定健診等と同時に受診できることを伝えることが考えられる。

70 代で次に回答割合が高かったのは、「2. 市のがん対策全般」についてであり、70 代の自由回答欄回答者の 17.1%であった。「手続きが難しそうで二の足を踏んでしまう」という意見から、70 代は市のがん検診受診制度について気軽に受けられるものではないという認識を持っている可能性が推察される。この年代に対しては、がん検診受診に向けて背中を押してあげることが重要と考えられるため、検診を手軽に受けられることや特定健診等と同時に受診できることを伝えることがひとつの案として考えられる。

八王子市がん予防・がん検診に関する意識調査  
報告書（別冊）  
平成23年3月

発行 八王子市健康福祉部地域医療推進課  
〒192-8501  
東京都八王子市元本郷町3-24-1  
電話 042-620-7428  
調査委託機関 有限会社日本ヘルスサイエンスセンター